

新型コロナに負けるな、世田谷区！

世田谷区でもワクチン接種が始まりました。ご心配がないようにスムーズな運営と情報提供に努めます。

いそだくみこ いそだ久美子

電機メーカー勤務、衆議院議員秘書を経て2019年4月に区議に初当選。
本号では第2回定例会と日々の活動報告です。

特集 世田谷区のワクチン接種実施状況と副反応についてお伝えします。

●これまでの経過

4月28日よりまず高齢者の接種予約受付を開始し、以降、順次年齢の低い世代へ接種券を発送中です。7月26日時点で83.2万人に接種券を発送済。接種は28.2万人が1回目接種を、14.5万人が2回目接種を終了しています。国の基準に基づき接種対象は満12歳からの希望者、ワクチンはファイザー社製です。集団接種会場は区民センターなど19会場、また7月13日より個別接種として地域の一部医療機関で接種が可能となりました。(区のホームページに情報掲載)なお、6月中旬開始の職域接種は現状モデルナ社製ワクチンを使用しており、区のワクチン接種との併用は出来ません。但し接種券は接種した先で回収されますので捨てずに保管ください。

●副反応ってどのような症状? “2回目は要注意!!”

接種部位の痛み等が多くの方にみられます。接種部位の反応の頻度は1回目と2回目の接種で大きな差はなく、発熱、頭痛、倦怠感などの全身反応は、1回目接種よりも2回目の接種で頻度が高い傾向がみられました。

また、年齢が上がると頻度が低くなる傾向や、男性より女性の方が頻度がやや高い傾向が見られました。(厚生労働省:新型コロナワクチン接種後の状況調査による)

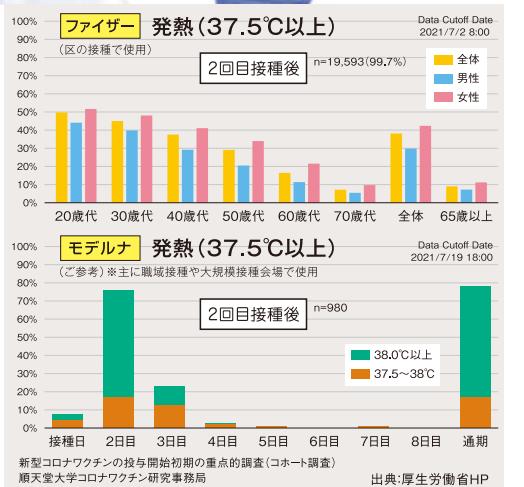
ワクチン接種の問合せ先

世田谷区
新型コロナ
ワクチンコール

0120-136-652
FAX 03-5687-2020

がいこくごで
といあわせが
できます

This call is available
in 18 languages.



2021.夏号

かかったかなと思ったら……相談窓口

感染予防のため、相談はまずかかりつけ医にお電話で。
相談できる医療機関が見つからないときは!

●世田谷区発熱相談センター（平日8:30～17:15）
03-5432-2910

●土日休日・平日夜間の相談は
東京都発熱相談センター（24時間受付）
03-5320-4592

参考:世田谷区役所および厚生労働省HP

活動報告

第2回 オンライン区民勉強会を実施

～コロナ禍で出来る国際交流～

渡航が出来ない今だからこそ海外の事を知りたい、交流したい…
オーストリア大使館商務部の松本典子氏よりオーストリアのライフスタイルやトレンド、物産について豊富な画像を織り交ぜての講演、いそだからは区の小中学校が行った国際交流事例や、三軒茶屋にオープンした区の国際交流拠点クロッシングSETAGAYAを紹介。落合貴之衆議院議員、山口拓都議、参加者も交えて区の国際交流の推進について意見交換しました。

都議会議員選挙応援

所属する立憲民主党で擁立した現職の山口拓都議、新人の風間ゆたか元世田谷区議の応援に入り、両名とも当選しました。都政がより身近になり区民の要望を実現できますよう、2人の都議と連携して取り組んで参ります。

皆様のご意見、ご質問もお待ちしております。



令和3年 第2回定例会一般質問

新型コロナワクチン接種に関する 接種証明書発行準備について

Q1 欧米の各国でビジネス、観光、留学などの目的で入国する際、ワクチン接種証明書の提示を求められることがある。日本でも接種証明書の発行を開始するとの政府の見解があるが、区がその実務を担つたときに迅速に発行できるよう準備は進めているか？

A 発行の元となるデータはVRSが基本になると考えられるが、これには医療従事者の接種記録がまだ反映されていない。他の自治体の事例なども参考にしながら検討を進める。



VRSとは？

ワクチン接種記録システム
(Vaccination Record System)
の略。誰がいつワクチン接種したか
を記録する全国共通のシステム。



学校行事を安心安全に行うため、 児童生徒への事前PCR検査を

Q2 コロナ感染が拡大しているここ1年、学校の行事や部活動が中止・制限されており、「感染対策をしっかりして、行事や部活動を通常通りやらせてほしい」との保護者や生徒からの声が上がっている。山口県では行事や部活動を安心して行えるよう、全ての高校教員と生徒を対象にPCR検査を実施した。区では高齢者を対象にPCR社会的検査を行っているが、児童生徒にもできないか？

A 児童生徒全員を対象とするPCR検査は、費用面や学校側の負担の点から難しい。その他の感染防止対策を強化し、学校行事や部活動の通常通りの実施に向け努力する。



PCR社会的検査とは？

感染を未然に防ぎ、重症化を避けるため、希望する介護事業所の施設利用者と職員に対し、症状がなくても行う区のPCR検査。
令和2年10月より開始。



幼児教育・保育無償化対象外施設への 区の助成の見直し

Q3 令和元年10月より国が開始した幼保無償化は一律ではなく、対象とならない施設がある。区は代替策として外遊びに力を入れる2施設については利用家庭への助成を決定したが、その代りこれまで行っていた当該施設への運営費補助を打ち切った。園の経営を圧迫し保育の質を下げる要因ともなるので、再考せよ。

A 従来の要綱では、1つの施設に対し複数の助成金を支給することが出来ないのでこのような措置を行った。状況を確認し、必要な見直しの検討を行う。

野外保育風景



世田谷区医療的ケア相談支援センター Hi・Na・Taが8月3日よりオープン

医療的ケア児とそのご家族が安心して生活できるよう専門スタッフによる相談を受け付けたり、お子さんとひと休みできるスペースを備えた支援センターが国立成育医療研究センター敷地内に出来ました。まずは多くの方に知って頂き、ご利用いただければと思います。



医療的ケア児とは

人工呼吸器や経管栄養、たんの吸引といった医療的ケアが日常的に必要な子ども



世田谷区医療的ケア相談支援センター
Hi・na・ta(ひなた)
〒157-0074 世田谷区大蔵2-10-18
TEL:03-3749-6955
(平日8:30~17:00)



いそだ久美子プロフィール／1966年神奈川県生まれ。県立厚木高校、早稲田大学第一文学部卒。旧姓小室。三菱電機株式会社に入社、事務系総合職として勤務。衆議院議員手塚よしお秘書に転身、2019年世田谷区議会議員選挙初当選。労働・医療政策、環境、都市計画などに取り組む。 <http://www.isokumi.com>